

Agilent フィコビリタンパク質 コンジュゲート

ビーズベースの四量体およびフローサイトメトリ
アプリケーション



アジレントでは、お客様のアプリケーションの特別な要件に適合する、ストレプトアビジン-RPE およびストレプトアビジン-APC コンジュゲートの製品シリーズを製造しています。アジレントでは、コンジュゲートのストレプトアビジンおよびフィコビリタンパク質成分の両方とコンジュゲート自体を製造しているため、品質と製造の要素を適切に管理できます。

アプリケーションに最適なコンジュゲートの同定

アジレントは、高度に精製されたフィコビリタンパク質とストレプトアビジンから、ビーズベース、フローサイトメトリ、四量体および FRET のアプリケーションに適したさまざまなストレプトアビジン-R-フィコエリスリンコンジュゲートやアロフィコシアニンコンジュゲートを製造しています。また、キットと SMCC 活性化フィコビリタンパク質も提供しており、目的の抗体の複合体化を容易に行うことができます。

以下をはじめとするコンジュゲート製品をご用意しています。

- アプリケーションテスト用のサンブラキットなど、各種ストレプトアビジン R-フィコエリスリンコンジュゲート
- 四量体、多量体および FRET アプリケーション用ストレプトアビジン-アロフィコシアニンコンジュゲート
- 1 mg までの抗体と RPE を結合するための必要品が揃った、R-フィコエリスリンコンジュゲートキット
- 目的の抗体やその他のタンパク質の複合体化を容易に行える、SMCC 活性化 R-フィコエリスリンおよびアロフィコシアニン

詳細については、[アジレントのウェブサイト](#)をご覧ください。

フィコビリタンパク質コンジュゲート

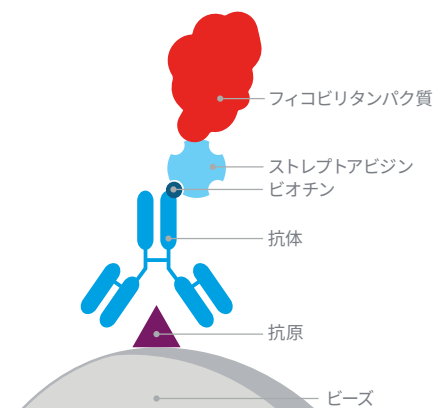
ストレプトアビジン-R-フィコエリスリン

このコンジュゲートの種類は次のとおりです。

- フローサイトメトリまたは四量体アッセイ (T細胞分析) で使用される「小型」のコンジュゲート
- ビーズベースアッセイで使用される「大型」のコンジュゲート

ストレプトアビジン-アロフィコシアニン (SA-APC)

主なアプリケーションは四量体アッセイ (フローサイトメトリによる T細胞分析)



ストレプトアビジン-フィコビリタンパク質コンジュゲートを含む、フローサイトメトリ設定の例

ストレプトアビジン-RPE コンジュゲート

R-フィコエリスリン（RPE）コンジュゲートは、フローサイトメトリ、免疫測定法、MHC 四量体アッセイ、ビーズベースアッセイで使用されます。RPE は高い吸収を持つ蛍光分子であり、検出能に優れています。最も明るい信号が必要な場合に選択される蛍光色素であり、検出性や精度に高感度が不可欠な際に、頻繁に使用されます。アジレントでは、ストレプトアビジンおよび高精製 RPE を使用して幅広いアプリケーション向けのさまざまなコンジュゲートを製造しています。これらにはそれぞれ異なる特性があり、特定のアプリケーションに適しています（例えば、ビーズベースアッセイの最適なコンジュゲートは、通常 MHC 四量体アッセイの最適なコンジュゲートと同一ではありません）。

ストレプトアビジン-RPE コンジュゲートセレクションガイド

全体のサイズが異なるさまざまなストレプトアビジン-R-フィコエリスリン（SA-RPE）コンジュゲートもご用意しています。お客様のシステムに最適なものを見つけるために、これらのコンジュゲートをお試しいただくことをお勧めします。

PJ3SX ストレプトアビジン-RPE サンプラキットからお試しいいただくのが最も簡単です。このキットには、下表に示されているすべてのコンジュゲートが付属しています。

部品番号	コンジュゲートサイズ	アプリケーション
PJRS301*, PJRS20, PJRS34	大	Luminex およびその他のビーズベースアッセイ
PJRS25**, PJRS27	中	四量体
PJ39S	小	フローサイトメトリ

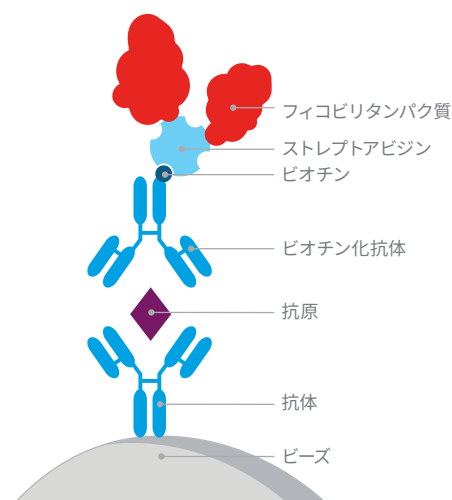
* PJRS301 は、長期的な信号の安定性のために開発された最新のコンジュゲートです。

**PJRS25 は、ストレプトアビジン-APC コンジュゲート PJ27S とともに、NIH (Emory) テトラマーコアファシリティアプロトコル¹で使用されています。

ストレプトアビジン-RPE コンジュゲートサンプラキット

アジレントでは、お客様のアプリケーションの特別な要件に適合する、ストレプトアビジン-R-フィコエリスリンコンジュゲートの製品シリーズを製造しています。PJ3SX サンプラキットを使って、さまざまなコンジュゲートをお試しください。そのアプリケーションの結果を共有していただければ、いずれか 1 つのコンジュゲートの最初の 1 mg のご購入に対してお支払いいただいたキットの価格を適用させていただきます。

製品概要	部品番号	内容量
ストレプトアビジン-フィコエリスリン、サンプラキット	PJ3SX	PJRS20 (0.25 mg) 各 1 個、 PJRS25 (0.25 mg) 各 1 個、 PJRS27 (0.25 mg) 各 1 個、 PJRS301 (0.25 mg) 各 1 個、 PJ39S (0.25 mg) 各 1 個、 PJRS34 (0.25 mg) 各 1 個



ストレプトアビジン-フィコビリタンパク質コンジュゲートを含む、免疫測定法設定の例



¹ NIH テトラマーコアファシリティア。[インターネット]。ジョージア州アトランタ：エモリー大学、c2006-2010。クラス I MHC 四量体前処理：概要、[2020 年 10 月 21 日 記載]。入手先：<http://tetramer.yerkes.emory.edu/support/protocols>

「コンジュゲートサイズ」の意味

SA-RPE コンジュゲートは、複合化の実行方法が異なるため、全体の平均サイズが異なります。例えば、PJ39S SA-RPE はほぼ単一構造（約 2 ～ 3 個の SA 分子が 1 個の RPE 分子に結合）ですが、その他のコンジュゲートは 2 個以上の RPE 分子が含まれている大型構造です。分析証明書にストレプトアビジンと RPE のモル濃度を記載しています。

ストレプトアビジン-RPE コンジュゲート

製品概要	部品番号	内容量	アプリケーション	コンジュゲートサイズ
ストレプトアビジン-R-フィコエリスリン	PJ31S-1	1 mg	PJ31S は、特に Luminex プラットフォームのようなビーズベースアッセイで最適な性能を実現するために製造されたコンジュゲートです。新しいコンジュゲート PJRS20 と PJRS301 がその後継品です。	大
	PJ31S-5	5 mg		
	PJ31S	50 mg		
ストレプトアビジン-R-フィコエリスリン (バージョン 2)	PJ39S-1	1 mg	HPLC/SEC クロマトグラムで主に単一ピークを示すコンジュゲートで、1 個の R-フィコエリスリン分子と結合した約 2 個のストレプトアビジン分子と一致しています。可能性のあるアプリケーションとして、フローサイトメトリでの単一分子検出システムと定量分析が挙げられます。	小
	PJ39S	50 mg		
ストレプトアビジン-R-フィコエリスリン (バージョン 4)	PJRS20-1	1 mg	PJRS20 は、ビーズベースアッセイで最適な性能を実現します。	大
	PJRS20-10	10 mg		
	PJRS20	50 mg		
ストレプトアビジン-R-フィコエリスリン (バージョン 5)	PJRS25-1	1 mg	PJRS25 は複数ある独自のストレプトアビジン-RPE コンジュゲートの 1 つで、Luminex プラットフォームのような一部のビーズベースアッセイの性能を向上させます。	中
	PJRS25-10	10 mg		
	PJRS25	50 mg		
ストレプトアビジン-R-フィコエリスリン (バージョン 6)	PJRS27-1	1 mg	PJRS27 は、四量体と多量体アプリケーション ¹ およびフローサイトメトリと Luminex プラットフォームのようなビーズベースアッセイで最適な性能を実現します。	中
	PJRS27-10	10 mg		
	PJRS27	50 mg		
ストレプトアビジン-R-フィコエリスリン (バージョン 7)	PJRS301-1	1 mg	PJRS301 はアジレントの最新のストレプトアビジン-RPE コンジュゲートで、特にビーズベースアッセイで最適な性能を実現します。長期間にわたる一貫したロット性能を保証するために設計された追加のステップを経て製造されています。	大
	PJRS301-10	10 mg		
	PJRS-301	50 mg		
ストレプトアビジン-R-フィコエリスリン (バージョン 9)	PJRS34-1	1 mg	PJRS34 は、ビーズベースアッセイを使用する研究アプリケーション用の低バックグラウンドコンジュゲートとして製造されています。	大
	PJRS34-10	10 mg		
	PJRS34	50 mg		

¹ NIH テトラマーコアファシリティ。[インターネット]。ジョージア州アトランタ：エモリー大学、c2006-2010。

クラス I MHC 四量体前処理：概要、[2020 年 10 月 21 日記載]。 入手先：<http://tetramer.yerkes.emory.edu/support/protocols>

ストレプトアビジン-APC コンジュゲート

アロフィコシアニン（APC）コンジュゲートは、FRET スクリーニング、フローサイトメトリ、免疫測定法、および MHC 四量体アッセイで用いられています。APC は吸収性の高い蛍光分子であり、検出性に優れています。APC は通常、内部架橋型に使用され、ほとんどの用途に必要な低濃度で安定しています。一般的な複合化技術では、本製品のスペクトル特性は変化しません。アジレントは、高度に精製された架橋結合 APC を使用して、多様なアプリケーションに向けたさまざまな APC コンジュゲートを製造しています。また、SMCC 活性化 APC も提供しており、目的の抗体やその他のスルフヒドリル含有タンパク質への複合化を容易に行うことができます。

製品概要	部品番号	内容量	アプリケーション
ストレプトアビジン-アロフィコシアニン	PJ25S	0.25 mg	PJ25S は、PJ27S よりも大きなコンジュゲートであり、FRET アッセイに適しています。
	PJ25S-1	1 mg	
	PJ25S-10	10 mg	
ストレプトアビジン-アロフィコシアニン (バージョン 2)	PJ27S	0.25 mg	PJ27S は、四量体および多量体アプリケーション ¹ で使用するために特別に設計されています。
	PJ27S-1	1 mg	

¹ NIH テトラマーコアファシリティ。[インターネット]。ジョージア州アトランタ：エモリー大学、c2006-2010。
クラス I MHC 四量体前処理：概要、[2020 年 10 月 21 日記載]。入手先：<http://tetramer.yerkes.emory.edu/support/protocols>

アジレントとのパートナーシップ

信頼の置けるサプライヤを選択することはきわめて重要です。これにより、使用する製品の詳細にまで絶対の信頼を置くことができます。

アジレントとのパートナーシップにより、この高い信頼が保証され、次のようなメリットが得られます。

消耗品管理	グローバルなロジスティクスによって費用とリスクを最小化し、タンパク質を適切なタイミングで適切な場所に確保できます。在庫管理では、必要に応じてバッチ固有の注文とロットの事前適格性評価の実施が可能です。
柔軟性	品質および供給について、お客様のニーズに合わせた仕様を提供します。小口から大口まで、幅広いバッチサイズに対応します。 大量のご注文にも対応可能です。
品質	堅牢な製造プロセスを通して、性能に実績があり、高純度で再現性の高い生体分析用タンパク質を実現しました。
専門知識	高性能で一貫性のあるストレプトアビジンおよびフィコビリタンパク質製品の開発と製造において、30 年の経験を有しています。

ホームページ

www.agilent.com/chem/jp

カスタムコンタクトセンター

0120-477-111

email_japan@agilent.com

本製品は一般的な実験用途での使用を想定しており、医薬品医療機器等法に基づく登録を行っておりません。本文書に記載の情報、説明、製品仕様等は予告なしに変更されることがあります。

アジレント・テクノロジー株式会社
© Agilent Technologies, Inc. 2021
Printed in Japan, October 1, 2021
5994-4054JAJP
DE44467.3865509259